

伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.33号> 2013年 11月1日発行

ごあいさつ

秋もいよいよ深まって参りました。食欲の秋をがっかりさせる事件、今食材の虚偽表示問題が露呈しており、消費者の信頼を裏切る残念な出来事が相次いでいます。

隠さず正直に伝える企業倫理とそれを遵守する内部統制の欠如が問われています。

国会は今、秋の臨時国会の会期中です。消費税増税やTPP、汚染水漏れ問題など重要な審議がある中、政府は特定秘密保護法案の成立を目指しています。

これは、国の特定秘密の遵守を統制するためのルールづくりですが、国家の主権者である国民の知る権利が置き去りにされるような法案では国民から信頼は得られません。ぜひ、慎重な議論を尽くして頂きたいものです。

刈谷市議会では、先の9月議会で議会の最高規範となる議会基本条例を制定しました。

市民に開かれた、信頼される議会を目指す基本条例の意義を咀嚼しながら、微力ではありますが今後も努力して参ります。



刈谷市議会議員

【後援会事務所】

刈谷市一里山町金山100番地 (トヨタ車体労働組合内)	
Tel.	0566-36-3870
Fax.	0566-36-6272
E-mail	itou@bwcom.or.jp



歳時記

- 11月 3日 (日) 文化の日
- 7日 (木) 立冬
- 9日 (土) 全国火災運動(～11/15)
- 15日 (金) 七五三
- 21日 (木) ボゾル・ヌボ -解禁日
- 22日 (金) 小雪
- 23日 (土) 勤労感謝の日

”菊花香る候”月の始めは小春日和もありますが、後半には初冬の佇まいを感じる事が多くなります。気の早いクリスマスのメロディーに気分が高揚したり、昼間の暖かさに心が緩みますが、木枯らしの季節に風邪など召さぬようご用心下さい。

伊藤ゆきひろの ちょこっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪



歴史をとどめるため 並び立つ一対の楠の木。足元には銀色のススキの穂波が、時の流れの中 そっと癒すように寄り添います。さて、ここはどこでしょう？

10/1発行の<No.32>の答えは、天王町の衣浦幼稚園のカボチャとサツマイモ畑でした。収穫の季節、幼稚園児が瞳を輝かせながら“宝物発見！”気分を味わいますv(o^o)v



“シャンソン”への招待 ☆

枯葉がカサコソと音を立てて舞い散る午後、ふとシャンソンを聴いてみたいと思ったりします。深まる秋のセピアの陽差しとフランス語の語感何となく切ない季節に合いませんか？カフェの曇りガラスの中なら尚更…

シャンソンは日本語で言えば“歌”という意味ですが、その特徴は一編の短いドラマのように、歌詞が物語性を持っているものが多いことです。

曲の多くは、クップレと呼ばれるストーリーの部分とルフランと呼ばれる繰り返しの部分からなり、歌い手は自分の個性を活かし演じ歌うことでシャンソンに生命を吹き込むと見なされています。

曲の成り立ちや構造、或いは扱うテーマにより、民衆の歌(ポピュラーや民謡)・学識のある・文学的・現実的・幻想的シャンソン等、様々なタイプに分類されますが、いずれも語り口調でひとの心に染み入るような魅力を感じるのには、その昔街の辻々で吟遊詩人がドラマチックな演出方法を編みだした賜物でしょうか？晩秋、深い夜に愉しむシャンソンは最高です☆

11月の行事予定

- 11月10日 (日) トヨタ車体労組ハッピーフェスタ
- 11日 (月) 議会運営委員会・全ト政推連
- 16日 (土) 下り松川樹木間引き作業・三河西地協定期総会
- 18日 (月) 6者会議
- 19日 (火) 議会運営委員会・西三河4市議会研修会
- 21日 (木) 議会運営委員会
- 27日 (水) 衣東臨時議会

“まじめに
コツコツ、
即行動”
頑張ります!!



10月のフットワーク

平成26年度の予算編成に関する要望を提出（10月4日）

将来に希望が持てる、住みたい住み続けたいまちとなるよう、その実現に向け平成26年度の予算編成に際し、市民クラブ会派として要望をまとめ、当初予算に反映して頂くよう市長に要望書を提出しました。



10月4日 刈谷市長へ
要望書を手渡す

刈谷市議会 市民クラブ
＜要望提出者＞
沖野 温志・山内 智彦
黒川 智明・中嶋 祥元
鈴木 浩二・佐原 充祐
伊藤 幸弘

要望内容は、
13の基本施策57件を要望
新規5件・継続52件(重点要望は17件)

分野別の要望施策と件数

都市環境分野		教育文化分野		産業振興分野		福祉安全分野		計画推進分野	
基本施策	要望件数	基本施策	要望件数	基本施策	要望件数	基本施策	要望件数	基本施策	要望件数
市街地住環境	5	学校教育	2	商工業	3	次世代育成子育て支援	2	行政経営	1
道路・交通	14	スポーツ	4	観光	3	障害児・高齢者福祉	1		
公園緑地緑化	1					防災	8		
循環型社会環境保全	3					防犯交通安全	10		

＜主な要望内容＞ 抜粋

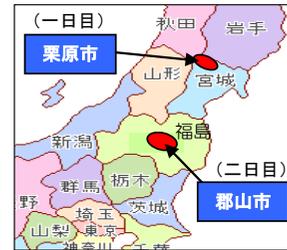
- ・住居系・工業系市街地開発の早期実施により他市への人口流出防止を図ること。
- ・平成大橋と衣浦大橋の間に新橋建設を積極的に県の要望すること。
- ・交通量削減・交通弱者保護など、市内バスのあり方の抜本的な改善を行うこと。
- ・亀城公園と歴史博物館の整備に併せ、新たな賑わいとまちづくりを創造すること。
- ・保育ニーズへの対応強化をすること（入園の待機ゼロ・保育時間帯の拡大など）
- ・児童クラブのサービスの充実・拡大（土曜日及び長期連休の受入時間前倒し）
- ・犬のふんの放置防止に取り組むこと。
- ・防犯カメラの設置の中期計画を策定し、計画的な増設を推進すること。等

予算要望の後、引き続き市長へ「H26年度税制改正における自動車関連諸税に関する要望書」を提出しました。

自動車に対する税は何種類も加重に課せられ、消費税が引き上げられれば更に国民負担は増大する。また、今後の経済や雇用にも悪影響を及ぼす。よって、国民生活に対する生活減税としてH26年度税制改正において簡素化・負担の軽減に繋がる自動車関連諸税の抜本改革に理解を示すよう市民クラブ会派として市長に要望書を手渡した。



企画総務委員会 行政視察報告



【日程と視察テーマ】

- ・10月17日(木) 宮城県 栗原市
『震災での経験を教訓とした
防災の取り組みについて』
 - ・10月18日(金) 福島県 郡山市
『シティセールス推進事業について』
- 郡山市役所前にて
- 【視察委員】 蜂須賀 信明(委員長) 伊藤 幸弘(副委員長)
星野 雅春(委員) 白土 美恵子(委員) 前田 秀文(委員)
加藤 峰昭(委員) 中嶋 祥元(委員) 行政当局から2名



栗原市の防災の取り組み

平成20年に発生した岩手・宮城内陸地震では死者13人、行方不明6人を出したが、東日本大震災では同じ震度6強の規模にも関わらず、死者・行方不明者は0人、これには自主防災組織が大きな役割を果たした。

栗原市では小規模単位での自主防災組織体制が敷かれて、行政と自主防災の役割が明確になっており、地域の機動力が発揮できる仕組みとなっていた。

刈谷も小規模単位での組織体制への見直しを図って行くべきである。

郡山市のシティセールス推進

郡山市は、市民に誇りを持ってもらう取組みとして都市の認知度を上げる「シティセールス」事業を積極的に展開。

市民が望む都市イメージを基本コンセプトに多種事業が一貫した取り組みを行い、市民参加型の取り組みを行っていた。

震災後は、風評被害を吹き飛ばし、子どもたちの未来の笑顔のために基本方針に掲げた「シティセールス」を行っている。

刈谷市も市民に愛され、他市からも訪れてもらえるよう、様々な事業が一つの方向性を持って発進力を強化し推進すべきである。

各種行事に参加



10/6



緊急消防援助隊
中部ブロック合同訓練

10/19



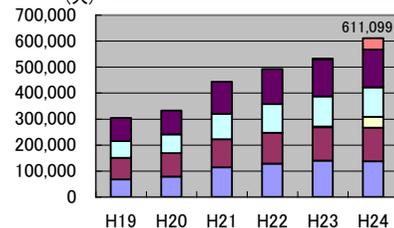
元刈谷地区防災訓練

10/20

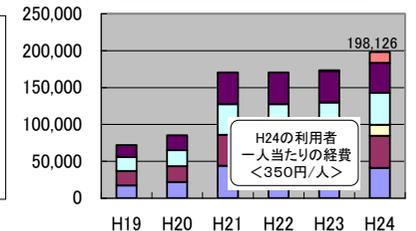
★★★ 市政ピックアップ ★★★

バス交通の利便性向上を目指し、10月21日から地域懇談会がスタートしました。(中学校区ごとに開催)

(人) 公共施設連絡バス利用者数状況



(千円) 公共施設連絡バス運行経費



H21年2月～1路線1台⇒2台運行へ H24年3月～依佐美線・一ツ木線運行が開始